

クロアチア情勢

主な出来事

2018年8月

内政

- 2日、政府は、市民団体「市民の決断」と市民団体「イスタンブール条約の真実」が提出した国民投票の実施を求める集められた署名の検証を行政省と内務省に指示。
- 2日、ウシュティツァ村で第二次世界大戦中のローマ人犠牲者追悼式典が開催。
- 5日、クニンにおいて、「嵐」作戦23周年を記念する「勝利と祖国感謝の日」式典が開催され、グラバル＝キタロビッチ大統領、ヤンドロコビッチ議長及びプレンコビッチ首相が出席。また、米軍特使、ミネソタ州軍少将らが米代表として、イスラエル国防省対防衛協力輸出庁長官らがイスラエル代表としてそれぞれ出席。
- 13日、カルロバツ県警は、オグリン近郊の森林地帯において、2人の不法移民が落盤によって死亡しているのが発見された旨発表。
- 16日、リカ＝セニ県警は、24人の不法移民を車に乗せ移動していたセルビア国籍の男が、ゴルニ・バガナツツの地方警察によって尋問され逃走、川に転落し重傷を負ったと発表。
- 21日、野党は、20日にザプレシチ（ザグレブ北部）において21歳の男性が心不全で死亡した件に関して、その原因が緊急医療体制にあるとして、クンジッチ保健相に対して責任を追及。
- 25日、野党「人間の壁」は、ペトロフ・MOST議員がアグロコル法のタスク・フォースの会合について虚偽の発言をしたとして議会利益相反委員会に通報。
- 31日、PAMETNO（スピリットの地域政党）は、ウリヤニク造船所への対応をめぐるヤコブチッチ欧州議会議員（イストラ民主会議（IDS）所属）の不正疑惑を受け、中道左派政党による欧州議会選挙を念頭に置いた非公式の協力体制である「アムステルダム連合」から離脱する旨表明。

外交

- 1日、プレンコビッチ首相とペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、ザグレブにおいて、チョービッチ・ボスニア・ヘルツェゴビナ大統領評議会メンバーと会談。
- 5日、プレンコビッチ首相は、4日にブチッチ・セルビア大統領がクロアチアとナチスを比較した発言に対して反論。
- 10日、外務・欧州問題省は、ガザからのイスラエルに対するミサイル攻撃を非難するコメントを発表。

●24-26日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、アフガニスタンを訪問し、24日、カブールにおいて、NATOの確固たる支援任務(RSM)のニコルソン司令官と会談し、その後25日にかけて、クロアチア軍が駐留するマザリシャリフを視察し、26日、カブールにおいて、ガーニ・アフガニスタン大統領及びアブドラ・アフガニスタン行政長官と会談。

●28日、プレンコビッチ首相は、ベルリンにおいて、メルケル独首相と会談。

経済

●2日、クロアチア政府は、税制改革パッケージ法案を公表。生鮮食品に対するVATの引下げ、社会保険料の見直し、所得税減税、固定資産税減税等を内容とする。2019年1月の導入を目指して手続きを進める方針。

●2日、クロアチア政府は、「2019-2021年経済・財政政策ガイドライン」を閣議決定。経済成長率について、2018年は2.8%、2019年は2.7%との見通しを示す一方、財政については、2019年の税制改革の実施により税収減が見込まれるものの、歳出の見直し等により、引き続き財政再建が進展するとの見通し。

●3日、クロアチア航空の労働組合は、給与待遇の改善を求め、8日6時よりストライキを開始する旨表明。

●6日、ザグレブ県裁判所は、クロアチア航空の労働組合によるストライキの実施を禁止する仮決定を発表。同社の経営のみならずクロアチア経済全体に及ぼす影響を考慮。

●16日、クロアチア財務省は、税制改革案に係る公聴会を開始。9月6日まで実施予定。

●21日、ウリヤニク造船所の労働組合は、7月分給与の未払いを理由にストライキを開始。

●22日、3. Maj造船所(ウリヤニク造船所と同じウリヤニク・グループ傘下の企業)の労働組合は、7月分給与の未払いを理由にストライキを開始。

●23日、クロアチア統計局は、雇用統計を発表。7月の失業率は8.6%となり、前月(8.8%)から低下。

●28日、European Travel Commission(ETC)は、クロアチア・スロベニア共同の中国における観光促進キャンペーンに出資することを承認した旨クロアチア観光局が発表。

●29日、欧州委員会は、リエカ市の上水道及び下水道設備の改修事業に対して、163百万ユーロを拠出する旨発表。2023年末までに完了予定。

●29日、クロアチア統計局は、2018年第2四半期のGDP(速報値)を発表。前年同期比2.9%増となり、前期(同2.5%)より伸びが加速。財・サービス輸出の拡大が寄与。

●30日、クロアチア政府は、ウリヤニク造船所の給与未払い問題に対処するため、クロアチア郵便銀行の同造船所に対する融資について、新たな政府保証を付与することを決定。

●31日、ウリヤニク造船所及び3. Maj造船所は、労働者に7月分の給与を支給。労働組合は、ストライキの終結を発表。

主要経済指標

(2018年月次データ, 政府統計局発表)

輸出総額(6月)	輸入総額(6月)	貿易赤字(6月)	工業生産高(7月) 対前年同月比	インフレ率(7月) 対前年同月比	失業率(登録制)(7月)
515.5億クーナ 69.3億ユーロ (2.5%)	862.8億クーナ 116.1億ユーロ (6.0%)	347.3億クーナ 46.7億ユーロ (11.7%)	-0.9% (6月:3.1%)	2.1% (6月:2.4%)	8.6% (6月:8.8%)

※輸出総額, 輸入総額, 貿易赤字の括弧内の数字は, 対前年同月比。

本クロアチア情勢は, クロアチアの政治・経済情勢を中心に各種報道, 発表をとりまとめたものです
ので, 記載事項については在クロアチア日本大使館の見解を示すものではなく, 特定の団体・個人
の利益を代表するものではありません。